

# 高校生と考える

報告

# これからのダイバーシティ



●発表者●

松山北高等学校家庭クラブ



●コーディネーター●

(公財)松山市男女共同参画推進財団理事長

桐木陽子

(松山東雲短期大学 教授)

今回のイベントには、松山北高生20名、松山東高生12名、一般参加10名が参加してくださいました。

はじめに、松山北高校家庭クラブが、令和4年8月に開催された「第69回愛媛県高等学校家庭クラブ研究発表大会」にて、最優秀を受賞した「松北 Diversity Project ～地域社会との多様な関りを目指して～」という研究題目を発表してくださいました。

その後、松山北高等学校、松山東高等学校の生徒の皆さんがグループに分かれて「意見交換」を行いました。

【意見交換会テーマ】

これからダイバーシティを推進するために  
高校生ができること

【高校生たちが発表してくれたアイデア】

- クラスマッチにポッチャをして、学校全体で障がい者への理解を深め、男女でグループを組んで参加する
- 目安箱など簡単に意見を伝えられる仕組みをつくる
- 積極的に活動できるような雰囲気づくりをする
- 海岸清掃などに取り組む
- フェアトレードと料理講習会で、人とのつながりをつくる
- 放課後やオンラインでの、気軽に参加できる他校との交流会を開催する
- 高校生が小学校に出向き、劇を通してジェンダーへの理解を深めてもらう
- 多様性を考慮した言動を心がける
- 育児の講習などでジェンダーなどの多様性を肯定する指導を行う
- 月一回ダイバーシティの授業を受け、クラブ活動等で行動する



## 【集合写真】



## 【参加者からの感想】

### ● 高校生 ●

北高の取り組みを知り、東高の活動にも生かせそうなヒントを得ることができました。また、有意義なグループワークができ、ダイバーシティへの意識が向上しました。（女子）

自分だけでは思いつかないようなダイバーシティについての考えや意見がたくさん出ました。高校が違うとボランティアの活動にも差があるなと感じました。話し合いが深まり、充実していて、とても楽しかったです。（女子）

班のみんなで、「どうすればいいのか?」という疑問を話し合い、意見交換をすることで、私たちができることが明確になったと思います。（女子）

他校との交流により、自分の高校にも取り入れたいと思うような案を出すことができました。（男子）

自分だけでは思い浮かばないようなアイデアや考え方などを話し合いを通して聞くことができとても楽しかったです。（男子）

東高の方々と交流をもっと交えたいと感じました！大変素晴らしい交流になったと感じます。（男子）

### ● 一般参加 ●

家庭クラブさんの取り組みが素晴らしいです。また、参加されている学生さんみなさんが、素直でまじめな方で、まっすぐに社会課題と向き合おうとされていることに、松山の未来へ期待が高まりました。（20代 女性）

高校生のアイデアやエネルギーに感激しました。このような交流から実践に結び付けてほしいと思いました。（40代 女性）



意見交換会では、普段触れ合うことの少ない他校との交流によって、たくさんのアイデアが出ていました。今回のイベントを通して、ジェンダーやダイバーシティに関する新たな学びや活動に結びつけていきたいという思いを強くしてくださったようです。皆さんにとって、実りの多い貴重な機会となったのではないのでしょうか。